施策評価シート 事務事業所管部局長 (幹事部局) 評価実施年度: 平成29年度 商工労働部長 安井克久 0852-22-5280

①施策の目的等

企業立地の推進 I - 1 - 4施策の名称 目的 県外からの新規立地や県内企業の再投資を促すことにより、県内産業の高度化と雇用の場の創出を目指します

②成里参老指煙の日煙	(事権)	と放金の担保	15782の前席

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
	目標値	(540.0)	540.0	1,080.0	1,620.0	2,160.0	人	企業立地による新規雇用 計画数のうち中山間地 域・離島(4年間の累 計)	目標値	(220.0)	220.0	440.0	660.0	0.088	
企業立地による新規雇用 者計画数(4年間の累 計)	取組目標値								取組目標値						
	実績値	(827.0)	314.0						実績値	(250.0)	141.0				
	達成率	153.2	58.2	_	_		%		達成率	113.7	64.1	_	-		%
	目標値								目標値						
	取組目標値								取組目標値						
	実績値								実績値						
	達成率	_	_	_	_		%		達成率	_	_	_	-		%
	平成28年度~平成31年度														

定性目標

成果参考指標の実績 等の補足説明(任意 記載)

・平成28年度の県の認定企業数は20件と比較的堅調ではあったが、平成27年度のような大規模雇用を予定する案件がなかった。 また、県東部18件(1社で2カ所に事業所設置のケースあり)、県西部3件で県東部に偏りが見られた。

③評価時点での施策目的に対する現状

- ・平成28年度中、ソフトビジネスパーク内に新たに5社の立地があった。(用地取得を伴う進出2、レンタルオフィス入居3)・県営工業団地の平成28年度末の分譲率は、江島工業団地で96.5%、江津地域拠点工業団地81.9%、石見臨空ファクトリーパーク34.3%、ソフトビ
- ・県営工業団地の半成28年度本の方隷学は、江島工業団地で90.0%、江澤地域が開工業団地の1.5%、口元町をスティーの一つであった。このうち、中山間地域等でに対する現状 (名朝的事実・データなどに 基プルた施策の現状や取組状況) ・企業誘致専門員が1,152件、職員が1,810件の企業訪問を行い、多くの投資意欲がある企業を把握することができた。・ホームページアクセス数は369,463件で、前年度比で295,348件の増であった。(企業立地課HP:310,026件、しまねスタイル:59,437件)・企業立地セミナーは、前年度の2か所開催(参加者303人)から1か所での開催に変更、140人の参加あり。1開催あたりの人数はほぼ同じである。・企業立地促進資金については、平成28年度の融資実績なし。市中金融機関の金利低下などにより、立地関係資金の需要は低迷している。

4総合的な評価

	判断	その理由
評価時点での総合的な評価 A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見 直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	В	 平成28年度は立地認定による雇用計画の目標を達成することができなかったが、製造業に関しては投資傾向が比較的堅調であり、平成29年度において12件(436人)の大規模雇用の認定があった。 ・県東部の中山間地域においては、県外からの新規立地が実現するなど成果があらわれている。 ・しかし、依然として他県との誘致競争は厳しい状況にあり、県西部や離島への立地が進んでいない。

⑤課題の認識

(1) 平成31年度	判断	その理由 <u>(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載</u>)
末の施策目的の達成 状況(予測) A:違成できる B:概ね違成できる C:違成は困難	В	
(2)施策の目的達成に向けての課題	規立地認定が増加したと考・企業の投資状況と傾向の や立地後のきめ細かいフォ ・県営工業団地の新規分譲	或への立地を促進することを目的に立地助成制度を見直したことから、地域資源を生かした中山間地域などへの県外からの新えられるが、依然として他県との誘致競争は厳しいままである。特に県西部や離島への立地が進んでいない。 把握や、他県の優遇制度との比較検討、また多くの企業において人材確保が課題となっていることから、企業の人材確保支援ローアップ活動の継続が必要である。 にむけ、立地環境や優遇制度などをPRしていくとともに、入居企業の従業員の利便性を向上させる取組みが必要である。 ターン志向の T技術者、求職者などに向け、必要な情報を的確な方法で届けることが重要である。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての 今後の取組みの方向

- 全国的に誘致競争が激しくなっており、他県の優遇制度との比較検討を行った上で、必要に応じて立地優遇制度の見直しを検討する。
 人材確保やインフラ整備など、企業のニーズにきめ細やかに対応するため、市町村や関係機関との連携を強化する。
 企業立地による産業の高度化と雇用創出効果が中山間地域などへも波及するような取組みを進める。
 立地優遇制度以外の人材確保支援や、立地後のきめ細かなフォローアップ活動のさらなる充実を図る。

- ・企業やU | ターンを志向する | T技術者に対して、中山間地域や県西部、離島の魅力ある地域資源と立地環境情報を届けるためにウェブコンテンツ「しまねスタイル」の充実を図る。

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称

Ⅰ-1-4 企業立地の推進

	形象の石が 1		(単位:千円)	
	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	企業局所管工業団地分譲事 業	江島・江津工業団地への立地により、生産・雇用を拡大させる	132,937	185,205	企業局
2		「自然と調和する公園の中の研究開発ゾーン」というコンセプトを確保し、企業団地として の魅力の維持及び向上を図る	12,787	11,858	企業立地課
3	企業誘致のための各種助成事 業	企業が立地する際の初期コストを軽減する助成金等を交付することにより、県内立地のインセンティブを高め立地を促進する	3,089,074	2,903,725	企業立地課
4		県営工業団地のインフラや環境を整備することなどにより、企業立地の魅力度を高め分譲を促進する	1,000	24,451	企業立地課
5	企業誘致のためのPR活動事 業	順外企業の誘致や県内事業所の再投資を促進するため、島根県の立地環境及び立 地優遇制度等に対する認知度を高める	12,136	9,759	企業立地課
6	企業誘致活動と情報収集事務	投資意向のある企業の情報を収集し、そうした企業に立地促進に資する情報を提供する	85,857	88,853	企業立地課
7	企業誘致のフォローアップ	立地企業の支援ニーズを把握し、適切に対応することで、県内事業所の維持・拡大を 図る	3,536	3,622	企業立地課
8	企業立地促進資金等融資事 務	前向きな投資に必要な資金を、長期・低利の融資で提供する	2,347,796	3,170,506	中小企業課
9	355				
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					